

輝く 田底っ子

第29号

文責：校長 益永 一幸

田底小 スローガン

- ① 自分と周りの人を大切にしよう ② 自ら進んで学び、互いに高め合おう

学校行事の実施について

市教育委員会より、10月1日以降の運動会・文化発表会・授業参観等の学校行事の実施について下記のような指針が出ました。本校はこの指針に沿って、感染防止対策を図りながら充実した学校行事を実施していきます。

- 1 学校の状況に応じて保護者等（家族）の参観を可能とするが、人が密集しないなどの感染防止対策を工夫すること。但し、現段階では地域の参観は控えることとする。
- 2 集会形式をとる場合は、会場のスペースを十分に確保する。
- 3 内容を精選し、全体の時間を短縮する。
- 4 修学旅行については、チェックリスト等に従って実施を検討すること。



夏休み自由研究表彰

10月1日（金）の全校集会で夏休みの自由研究の表彰を行いました。学校で学んだことを生かして、自分（友達と協力）の力で、よくがんばって仕上げていました。スローガンの「自ら進んで学び、互いに高め合おう」を実践しました。特によかった作品は表彰をしました。

表彰の観点 ①「目的、内容、実験・観察方法、結果、まとめ」などがわかりやすく書かれているか ②努力（複数回数の実験・観察、丁寧に実験・観察など）しているか ③実験・観察の結果とまとめが一致しているか（結果はAだったけど、本当はBです→ダメ）で審査しました。表彰された皆さんおめでとう。以下に紹介します。

特選・・6年山口なつき さん・3年山口さき さんの共同研究「災害から身を守ろう」

入選・・（6年）緒方ねね さん、坂井あいり さん・平山すすさ さん・本富しおり さんの共同研究

（5年）田中あいこ さん、若田しゅう さん・角田こはる さんの共同研究

（4年）田中すみれ さん、安武きひろ さん

（3年）森田まなと さん、高本のあ さん・杉本みほ さんの共同研究

運動会モードになってきました

6年生を中心に、9月から応援団を結成し、朝や昼の時間を使って練習しています。また、体育では「表現」の練習をしています。代表委員会では、運動会のスローガンが決定しました。発表は、10月8日（金）の応援団の結団式で発表されるようです。



受賞者のみなさん

裏面もあります

10月の重点目標

○目標達成のため努力を続ける ○病気やけがの予防こうどうができる

校則の見つめ直しについて

熊本市では、子どもたち一人ひとりが、社会環境の変化に適切に対応し、学びに向かう力を持ち、豊かな人間性、健やかな体を備えた、主体的に考え行動できる人づくりを目指しています。そこで、今年度より、「自分たちの決まりは、自分たちで守るという民主主義の基本を身に付けながら、自ら判断し行動できる児童生徒を育成する」ことを目的とし、校則・生徒指導のあり方の見直しを各学校の実態に応じて取り組むことになりました。田底小では、「田底小校則見つめ直し」という文言で取り組んでいきたいと思ひます。

10月の全校集会時の校長の話

今日は「学校のきまり」のことについて見つめ直すお話をします。さて、学校にはどんなきまりがあるか知っていますか。(途中省略)

これらのきまりは、「何のために」あるのか考えたことはありますか。よく見てみると、すべてに共通することがあります。それは、「みんなが安全に生活するため」「みんなが安心して楽しく生活するため」ということです。だから、学校のきまりは学校で生活する「みんなのためのきまり」なのです。「田底小のきまり」は、田底小のみんなが「安全に、安心して楽しく生活」するための「自分たちの」きまりです。

みなさんは、この自分たちのきまりについて、どれだけ知っていますか。どうしてそのきまりがあるのか考えたことはありますか。

そこで、校長先生からは、自分たちのきまりである「田底小のきまり」をもう一度じっくり見つめ直すことをお願いします。まずは、「田底小のくらし」という自分たちのきまりを学級で話し合ってみて見つめ直し、みんなの意見を集めます。みんなの意見は、6年生を中心とした「田底小校則見つめ直し委員会」でさらに話し合っていきます。

「自分たちのきまりは、自分たちで作って、自分たちで守る。」ことで、田底小のみんなが**「安全に、安心して楽しく生活」**することができます。

この「田底小のくらし」に書いてあるきまりはとていいきまりだと思いますが、きまりを見つめ直すポイントを4つ言ひます。

- ① 「安全に、安心して楽しく生活」するために、必要なきまりか、必要でないきまりはないのか。
- ② みんなが平等なきまりか。男女や年齢などの違いで困るようなきまりになっていないか。
- ③ みんなにわかりやすい言葉になっているか。
- ④ 付け加えた方がいいきまりはないか。

これが、きまりを見つめ直す4つのポイントです。

最後にもう一つ考えてほしいことがあります。田底小の校則の名前は「田底小のくらし」です。「自分たちで作ったきまりは自分たちで守る」という意味がよくあらわれるような**校則の名前を考えてほしい**ということです。

10月はコロナ感染予防をしながらも、運動会などの行事があり、「自ら進んで学び、互いに高め合える」月になります。「コロナに負けない、田底小の本気の力」を出していきましょう。期待しています。